

(2)計画

①共通教育における学習成果の直接評価

AAC&Uの取組などを参考にしながら、共通教育における学習成果の直接評価の方法について、プロトタイプの開発や事例収集・分析を行う。具体的には、共通教育のいくつかの領域についてのメタレビューの開発・収集/分析、ポートフォリオ活用事例やパフォーマンス課題の収集/分析などを実施する。【責任者:松下】

②数理学分野における共通教育の質保証

共通教育の中でも数理学分野をテストケースとして、その学習目標としての能力(数学的リテラシーなど)のあり方やその学習成果の評価方法について検討する。具体的には、分野横断的な能力(あるいは汎用的技能)と分野固有の能力の区別と連関、初等・中等教育段階での数学的リテラシーとの連続性(数理学分野での高大接続)などに焦点をあてる。【責任者:高橋】

③共通教育における学習成果の間接評価

正課のカリキュラムだけでなく大学生生活全体を通しての学習成果を評価するには、間接評価も必要になる。間接評価の開発成果にもとづいて、それを直接評価と組み合わせながら学習成果を包括的に評価する手法を新たに開発する。【責任者:山田】

④共通教育における質保証のためのマネジメント

学習成果の評価を共通教育の改善プロセスにおいて活用する上での実践的課題を抽出し、それをふまえて共通教育の質保証の実現に向けたマネジメントの手法について検討する【責任者:鳥居】

7. 補助金の使用計画

区分	員数	単価	金額		備考
			円	千円	
経費内訳	2013年度旅費	140	5,000	1,000	研究打合せ旅費, 調査研究旅費
	謝金			200	研究補助
	2014年度旅費	100	5,000	800	研究打合せ旅費, 調査研究旅費
	謝金			200	研究補助
	2015年度旅費	40	5,000	400	研究打合せ旅費, 調査研究旅費
	謝金			200	研究補助
印刷費等			200	研究成果報告書の印刷・郵送費	
合計			3,000		

8. 科研費等の応募計画

上記経費のうち、学会の課題研究費からの支出を各年度40万円とし、残りの予算については、さしあたって、以下の科研費、文部科学省特別経費の援助を受けることとする。また、新たに科研費の申請を行う。

- ・基盤研究(A)「大規模継続データの構築を通じた大学生の認知的・情緒的成長過程の国際比較研究」(研究代表者:山田礼子, 2010-13年度)より, 2013年度20万円
- ・基盤研究(A)「大学教育改善の促進と教育イノベーション普及のための『大学教育コモンズ』の構築」(研究代表者:飯吉透, 2013-2015年度)より, 2013・14年度各20万円 15年度40万円 計80万円
- ・基盤研究(C)「深い学習を促すパフォーマンス評価の開発」(研究代表者:松下佳代, 2013-14年度)より, 2013・14年度各20万円 計40万円
- ・文部科学省特別経費「国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点」(東北大学高等教育開発推進センター:2010-14年度)より, 2013・14年度各20万円 計40万円

9. 研究成果の公表方法

- ・課題研究集会(2013・2014・2015年度), 大会(2014・2015年度)
- ・研究成果報告書(2016年6月)
- ・単行本(2017年3月)